

令和7年3月26日

第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の
持ち回り審議実施に係る審議内容及び決定事項について

令和7年1月に持ち回り審議（書面による審議）にて実施した標記委員会について、審議内容及び決定事項に係る資料は次のとおりである。

【審議内容及び決定事項に係る資料】

- (別紙1) 第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の報告事項に対する委員の意見と委員長・事務局の見解・コメント
- (別紙2) 第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会持ち回り審議決定事項
- (別紙3) 第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会持ち回り審議 審議事項の概要

第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会(持ち回り審議)
委員の意見とそれに対する委員長・事務局のコメント

以下に各委員から頂いたご意見・コメントを示し、それに対する委員長・事務局の見解・コメントを記載します。

1. 令和6年度 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果(その3)― 四半期ごとの報告(令和6年度秋季)を中心とした積極的な地下水浄化対策停止以降の水質計測結果 ― (審議)

No.	委員の意見・コメント:2/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(2/18)	再度の意見照会/関係者の意見(3/4㍻切) ・委員長・事務局コメント(3/6)	今後の対応 (委員長・事務局)
1-1	【河原長美委員】 ・地下水水質計測結果より、自然浄化対策の継続が必要と判定される。	御意見をいただきありがとうございます。本年度も年4回の計測を継続してまいりますとともに、自然浄化対策の状況を含めたこれまでのデータを整理・分析し、年度末には「中間報告 その1」として審議いただくことにしています。その際にも、御意見を頂戴致したいと思います。	なし	2/18の見解・コメントのとおり。
1-2	【平田委員】 ・ベンゼン濃度は、何れの計測地点でも環境基準程度が若干低下している傾向が認められる。ただ1, 4ジオキサンは、地下水計測点①とD西-1では濃度低下は認められるが、地下水計測点③及び④では依然として環境基準を上回っている。そのため環境基準到達を申請する状況にはなく、地下水モニタリング及び自然浄化対策を継続することが必要である。	ベンゼン及び1,4-ジオキサンの濃度傾向について御意見をいただき、ありがとうございます。本年度も年4回の計測を継続してまいりますとともに、上述しましたように、年度末には「中間報告 その1」として、自然浄化対策の状況を含めたこれまでのデータを整理・分析し、審議いただくことにしています。その際にも、御意見を頂戴致したいと思います。	なし	同上
1-3	【河原(能)・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
1-4			【豊島住民会議】 意見はありません。	

2. 令和6年度 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保安全管理の状況(その3)(令和6年9月～11月)(審議)

No.	委員の意見・コメント:2/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(2/18)	再度の意見照会/関係者の意見(3/4㍻切) ・委員長・事務局コメント(3/6)	今後の対応 (委員長・事務局)
2-1	【平田委員】 ・令和6年度自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保安全管理の状況について、適切に運営されていると考えられる。	御意見ありがとうございます。処分地内の雨水貯水池等の水位を継続して観測していくとともに、雨水貯水池等の浸透速度を整理してまいります。その際、浸透速度の低下が見られた場合には、「雨水貯水池及び浸透池の底泥除去等の方法」に基づき、乾期に適宜測定した雨水貯水池等の底泥堆積厚を参考に、底泥除去の必要性を審議いただきたいと思います。	なし	2/18の見解・コメントのとおり。
2-2	【河原(長)・河原(能)・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
2-3			【豊島住民会議】 意見はありません。	

3. 浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の実施結果(報告)

No.	委員の意見・コメント:2/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(2/18)	再度の意見照会/関係者の意見(3/4㍻切) ・委員長・事務局コメント(3/6)	今後の対応 (委員長・事務局)
3-1	【河原(長)・河原(能)・平田・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
3-2			【豊島住民会議】 意見はありません。	

4. 雨水貯水池の底泥に関する堆積厚さ及び土壌硬度の測定の実施についての報告(報告)

No.	委員の意見・コメント:2/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(2/18)	再度の意見照会/関係者の意見(3/4㍻切) ・委員長・事務局コメント(3/6)	今後の対応 (委員長・事務局)
4-1	【河原長美委員】 ・雨水貯水池に堆積した土壌の調査から、あまり粘土質の微細土壌が堆積していないことがわかり、安心した。	御意見ありがとうございます。処分地内の雨水貯水池等の水位を継続して観測していくとともに、雨水貯水池等の浸透速度を整理してまいります。その際、浸透速度の低下が見られた場合には、「雨水貯水池及び浸透池の底泥除去等の方法」に基づき、乾期に適宜測定した雨水貯水池等の底泥堆積厚を参考に、底泥除去の必要性を審議いただきたいと思います。	なし	2/18の見解・コメントのとおり。
4-2	【河原(能)・平田・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
4-3			【豊島住民会議】 意見はありません。	

令和7年3月6日

第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会
に関する持ち回り審議
(R7. 1. 28 資料送付・3. 6 決定事項の報告)
～ 決 定 事 項 ～

1. 令和6年度 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果（その3）
— 四半期ごとの報告（令和6年度秋季）を中心とした積極的な地下水浄化対策停止以降の水質計測結果 —（審議）

標記資料については、1月28日送付版のとおり了承した。

なお、今後も地下水の環境基準への到達に向けての年4回の水質計測を継続し、年度末には「中間報告 その1」として、自然浄化対策の状況も含めたこれまでのデータを整理・分析し、審議いただくこととする。

2. 令和6年度 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況（その3）
（令和6年9月～11月）（審議）

標記資料については、1月28日送付版のとおり了承した。

なお、今後も処分地内の雨水貯水池等の水位を継続して観測し、雨水貯水池等の浸透速度を整理する。浸透速度の低下が見られた場合には、「雨水貯水池及び浸透池の底泥除去等の方法」に基づき、乾期に適宜測定した雨水貯水池等の底泥堆積厚を参考に、底泥除去の必要性を審議いただくこととする。

3. 浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の実施結果（報告）

標記資料については、1月28日送付版のとおり了承した。

4. 雨水貯水池の底泥に関する堆積厚さ及び土壌硬度の測定の実施についての報告（報告）

標記資料については、1月28日送付版のとおり了承した。

なお、今後も処分地内の雨水貯水池等の水位を継続して観測し、雨水貯水池等の浸透速度を整理する。浸透速度の低下が見られた場合には、「雨水貯水池及び浸透池の底泥除去等の方法」に基づき、乾期に適宜測定した雨水貯水池等の底泥堆積厚を参考に、底泥除去の必要性を審議いただくこととする。

令和7年3月6日

第6回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会
に関する持ち回り審議
(R7. 1. 28 資料送付・3. 6 決定事項の報告)
～ 審議事項の概要 ～

1. 令和6年度 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果（その3）
— 四半期ごとの報告（令和6年度秋季）を中心とした積極的な地下水浄化対策停止以降の水質計測結果 —（審議）

第18回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R5. 3. 26Web 開催）において審議・承認いただいた「処分地全域での地下水における環境基準の到達及び達成の確認マニュアル」及び第3回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R6. 3. 27Web 開催）で審議・承認された「令和6年における各種調査の実施方針」に基づき、地下水の水質計測を継続している。

今回、地下水の水質調査を令和6年11月（令和6年度秋季）に実施したことから、地下水濃度の推移を確認いただき、今後の予定を審議した。

2. 令和6年度 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況（その3）
（令和6年9月～11月）（審議）

豊島処分地では、雨水の地下浸透等による自然浄化により地下水の環境基準の達成を目指しており、雨水の地下浸透量等の知見を得るため、令和5年4月（貯水池の水位測定は、令和5年5月から）から豊島処分地の降雨量や雨水貯水池等の水位観測を行っている。

今回、令和6年9月分から11月分までの豊島処分地の降雨量や貯水池等の貯留量及び地下水浸透量等の観測・推定結果及び、地下水の自然浄化対策と「地下水の自然浄化対策関連施設の運用を含む豊島処分地の維持保全管理マニュアル」（R5. 9. 25 策定）に基づき施設の点検等を行った結果と対応を確認いただき、今後の予定を審議した。

3. 浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の実施結果（報告）

第3回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R6.3.27Web 開催）において、審議・了承いただいた「浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の実施計画（資料3・Ⅱ／7）」では、嵩上げ工事を4月から着工することとしていたが、降雨の影響により貯水池の水位が高く、着工できていない状況であった。

今回、水位が下がったことから、令和6年10月28日に着工、12月14日に工事を完了したため、嵩上げ工事の実施と令和6年10月31日及び12月17日に行った松島委員による中間及び完了の現地確認結果を報告した。

4. 雨水貯水池の底泥に関する堆積厚さ及び土壌硬度の測定の実施についての報告（報告）

第5回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R6.9.30Web 開催）において、審議・了承いただいた「雨水貯水池及び浸透池の底泥除去等の方法（資料5・Ⅱ／5）」により、雨水貯水池及び浸透池の水位が低下している乾期に浸透池等の底泥の堆積厚さ及び土壌硬度の測定をすることとされている。

今回、雨水貯水池の水位が下がった令和6年12月17日に、松島委員立会いのもとで底泥堆積厚さ及び土壌硬度の測定を実施した結果及び、令和7年1月6日に土壌を採取して実施した細粒分の含有率調査の結果を報告した。